



幼保連携型認定こども園

倉治こども園

こども園だより

令和 6年 10月 1日発行

園長 伊賀 治

## 思いやりと感謝の心を育むために



秋風が爽やかな季節となりました。毎朝、園庭からは元気に遊ぶ子どもたちの声が聞こえてきます。

さて、もも組・さくら組は、**遠足でキッズプラザ**へ行ってきました。思い存分楽しむことと、皆でルールを守り協力して行動することを経験することができました。遠足を通じ、協調性や社会性を育む機会にもなったと思います。

次に、2～5歳児クラスでは、10月12日(土)の**運動会に向けて**頑張っ練習に取り組んでいます。園児たちがはじめて取り組むものも多く、「できへんわー」「難しいわー」などという声も聞こえてきますが、一方で「今のでいいの」「できてるー」「やっとできたー」と達成感や充実感を感じながら頑張っています。園児たちの本番の頑張りを楽しみにしています。

また、**お泊まり保育**(さくら組)は1週間延期いたしましたが、全員参加で病気やけがもなく実施することができました。初めてお家の方と離れて一晩を過ごす経験をする子どもも多く、子どもたちがひとまわり成長する貴重な機会になったことと思います。お家の方もさみしい思いをされたのではないのでしょうか。園児たちと話をしていすると、「とっても楽しかった」「おばけ屋敷、怖かった～」「晩ご飯のカレーがとても美味しかった」「もう一泊したい」と口々に感想を言ってくれていました。



お泊まり保育の目的(育まれるもの)については、①寝食を共にする中、取り組みを通して、お友だちとの「**協調性**」が育まれます。②保護者の元を離れて一晩を過ごし「**自立心**」が育まれます。③自分のことは自分でする中、一人でできたことを実感することで「**自信**」がつけます。

お友だちと担任で過ごす一晩は特別な時間となり、忘れることのできない大切な思い出になっていくと思います。保護者の皆様にはご協力いただきありがとうございます。



## 【思いやりのこころを育もう】

「思いやりの心」「譲る心」「助ける心」「協力し合う心」、これらは本能ではなく、育むための訓練(日常生活の中で、相手を思いやる経験)が必要とされています。(「21世紀を生きる君たちへ」司馬遼太郎著より) こうした心は、将来の人格形成においてとても大切なものとなります。自分のことを優先して考えるだけでなく、相手のことを先に考えることが大切になります。「どうぞ」「ありがとう」「大丈夫」「お手伝いしようか」などの言葉を使う経験が、自身の喜びや心地よさになり、相手を思いやる心が育まれていきます。こうした経験に加え、身近な大人の姿からも学びます。私たち大人が園児のお手本となれるよう心がけたいと思います。



## 【読書活動を楽しむ②】

交野市立図書館より、大型絵本や紙芝居をお借りし、読み聞かせをしました。前回の絵本の読み聞かせとは少し違った読み聞かせになりました。大型絵本「へびくんのおさんぼ」「バルボンさんのおでかけ」、紙芝居「ゆびでつつん」「どうぶつこれなーんだ?」を紹介しました。市立図書館には、子どもたちが興味・関心を持つ様々な本があります。また次回も子どもたちの喜ぶ姿を思い浮かべながら楽しい絵本を探してきたいと思います。お家からも図書館へ行ってみてはいかがでしょうか。



## 令和7年度入学 小学校就学时健康診断について【お知らせ】

さくら組さんは、10月以降に進学先の公立小学校で「就学时健康診断」があります。交野市の方からお家の方へ郵便物が届いている(9月初旬に市より郵送済み)かと思いますが、ご確認ください。

ちなみに、倉治小学校の就学时健診は、10月11日(金)13:15~14:30、1Fラウンジルームです。保護者引率となります。よろしく申し上げます。

(お問い合わせ先:学務保健課 072-810-8011)

なお、この日は運動会の準備日、翌日が運動会本番となっています。運動会準備もあり、この日(10月11日)を降園協力日としております。何かとご多用のことと思いますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

